

Best Rugby

3. Globalism

Globe は sphere 地球 (儀) です。Globalism は地球全体に総合的に考えていくことです。イングランドのラグビースクールで発祥したラグビーは、英本国諸君から植民地へと近隣諸国へと勢よく広まっていきました。1971年 RFU (ラグビー協会) 設立 100周年を機に更なる発展を求めて global への道を歩み始めました。Friendship through Rugby を標題に掲げた IRFB (国際ラグビー連盟) 1986年の100周年を機に一段をその歩みを加速しました。IRB (IRB に改称) はルールの改正を熱心に繰り返し、simple and easier にする努力を続けています。Playing charter を宣言し、世界共通の素地の元に普及発展を遂げるべく努めています。日本はその間世界の動きに取り残され遅れをとってきました。W杯日本開催を前にして何としても遅れをとり戻さなくてはなりません。日本が進むべき best way を Best Rugby 研究から得られる精神的補強も必要欠くべからずものです。

IRB100周年の標題である “Friendship through Rugby” の考察から始めましょう。

ラグビーは友情を大切にするスポーツです。2023年 (ラグビー誕生 200周年) を前に RFU (ラグビー協会) IRFB (国際ラグビー連盟) それぞれの 100周年誌における回顧を元にラグビーの identity 友情について考察し、ラグビーを楽しむ糧にしたいと思います。

RFU は 1871年 1月 26日に設立第一回の会合がもたれました。1823年の Rugby school で誕生したラグビーはめざましい発達を遂げ多くのチームができ数多くの試合が行われるようになりました。そして全体を統轄する組織団体が必要になりました。それから 100年 1970年にトゥイックナムで創立 100周年記念行事が開催されました。世界中の国々から代表が参加しラグビーの発展を喜び祝いました。100周年記念誌のカバーに次ぎのように記されています。

Rugby football is the only game of many originating from the great English public schools that has become a world wide institution adored by generations of an ever growing number of players and spectators.

The first governing body of this great amateur winter game was the Rugby Football Union formed in a London restaurant in 1871. Since then Scotland, Australia, Ireland, Wales, New Zealand, South Africa, France and many other countries have followed England's example with unfailing success.

Rugby football is here vividly shown to be just what it is and wants to continue to be: a sport to be enjoyed in all its robustness both on and off the field without thought of any personal gain other than the life long friendships it so characteristically inspires among friend and foe alike without regard to race, class or creed.

ラグビーはイギリスの私立学校での起源をもつ今日でもプレーヤーや観衆が増え続け永い時代にわたって大変好かれている無比のスポーツです。

この偉大なアマチュア冬のスポーツの最初の統轄組織は 1871年にロンドンのレストランで行われた RFU です。それ以来スコットランド、オーストラリア、アイルランド、ウェールズ、ニュージーランド、南アフリカ、フランスと協会が設立され更に多くの国でイングランドの例にならって設立されました。

ラグビーは非常に適切なものでありずっと続けられるべきものであることをはっきりと示しています。それはフィールドの内でも外でも両方で生涯的永い友情より以上に人間的に得るものがあることからもすべての丈夫な人たちに楽しめるべきスポーツであるということです。友達および敵の間で人類、階級、宗教を問わずその特性を表して感得させるものです。

そして foreword に次のように記述されています。

<p>As to the game itself, in this Centenary Year, I have few qualms. I still claim it to be a magnificent game for the player-at its best a fine spectacle for the onlooker, and at all times the finest winter game in the world.</p> <p>There is, too, a fellowship about it that makes it the envy of most other games. Players of all classes meet in equality and keen rivalry on the field, and in happy comradeship in the hours immediately following. The atmosphere of the "third half" is one of the game's chief attractions.</p>	<p>私はこの 100 周年に当たりラグビーに全くといってよい程危惧を持っていません。ラグビーはプレーヤーにとって実にすばらしい競技であり見物者にとってもすばらしい情景を展開するもので世界で一番すばらしい冬の競技であると思っています。</p> <p>ラグビーにみられる友情は殆んど他の競技から羨ましがられています。すべてのクラスのプレーヤーが平等に分けへだてなく会いフィールドで激しく戦います。そしてその直後の時間に幸福な交友関係に時間を過します。その親密な雰囲気はラグビーの世界の主な魅力の一つです。</p>
---	---

以上の言葉はラグビーの良さを言い尽くしています。筆者は一人のラグビーマンとして誇りをもって述べています。これまでそのであったように誇りをもって受け継いでいかねばなりません。

IRFB (現在は、IRB, International Rugby Board) はラグビーがイングランドから各地へほとんど普及し離れた地域間の連絡機関が必要になりました。社会的に電信電話が発達し通信が容易になったことも役立ちました。広域組織団体の必要性と可能性が合いまって国際的組織機関が設立されました。そのきっかけは 1884 年 (Board 設立 2 年前) イングランドとスコットランドの試合の勝敗に関わる論争が起こったことです。試合はイングランドの勝利で終わったのですがスコットランドは欠陥があると抗議しました。いろいろと話合われた末に 1886 年 2 月 6 日に IRFB が設立され第一回会合が開かれたのです。100 周年記念誌委員長のあいさつに次のように述べられています。

<p>The rugby leader of the future must think, he must imagine, and he must dream - and then work out the substance of his dreams. Nothing is more essential to leadership than imagination yet it must be controlled, constructive and balanced. The balancing quality linked with imagination is sound thinking. Let us think soundly this week.</p> <p>The theme of the Congress is "Friendship through Rugby". Let us all make a conscious effort to get to know one another well this week.</p> <p>The future of rugby football in this challenging world is dependent in part on how well we know other people and how well they know us. The problem comes down to this - we don't necessarily know much about the men who run the game in other countries throughout the world. This week the representatives on the Board will make it their business to correct this.</p>	<p>将来のラグビーのリーダーは未来像を描かなければなりません。夢を持たなくてはなりません。そして夢の内容の実現につとめなければなりません。それをコントロールし建設しバランスをとって行うイマジネーションをとリーダーシップより重要なものはありません。イマジネーションと十分なバランスは健全な思考です。私たちは今週この会場でしっかり考えましょう。</p> <p>会場の命題は "Friendship through Rugby" です。ラグビーを通じての友情です。私たちは皆今週お互いによく知ることに意識して努力しましょう。</p> <p>世界へ挑戦するラグビーの将来はいかに他の人々を知っているか、彼らがいかに我々を知っているかの程度にかかっています。課題は我々が世界中の他の国の試合で走っている人々について必要なことを知らないかということです。今週は board の会議で提示されることを正す仕事をしましょう。</p>
--	---

ラグビーを通じて友人になり、友情を育て養うことがラグビーの普及発展に大切なことを強く述べています。「身体をぶっつけ合った数だけ友情が生まれる」という表現を要素としてプレーヤー、観衆その他皆でラグビーを楽しみラグビーを通して友情を育てましょう。アマチュ

アリズムを大切にしてきたラグビーですがプロ化の波の中でもグローバリズムの中で更に一段と飛躍を遂げるためにも現代に通用する Best Rugby が必須のものなのです。友情を深め、友情の輪を広げることができるラグビーが Best Rugby の条件です。試合中そして試合後のプレーの一つ一つと行動の如何がその要件です。友情を培うルールは第 10 条 4 項危険なプレー、不行跡の(m)項スポーツマンシップに反する行為に指示されていることが全てです。人間として競技を楽しむ心が第一であり Best Rugby の定義です。

結び

世界の情報をインターネットで即時自由に得ることができる時代です。ラグビーを愛好する一人一人がグローバリゼーションに敏感であることが求められています。今日国代表チームは「スポーツではなくビジネスである」とまで言われる状態です。

代表チームメンバーになることが名誉であると終局的に考えるトッププレーヤーたちの風潮ではプロ化の世界では通用しません。基盤としてラグビーの identity に基づいた指導によりラグビープレーヤーの裾野を拡げ、頂上は世界のプロフェッショナルリズムに打ち勝つプロ化を促進することが必須です。W 杯日本開催まで余日はありません。

2012.01.29
西川 義行